

高压ガス製造保安責任者 乙種化学・機械試験問題集
令和2年度版

【正誤表】 次のように誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

	正	誤
p. 221 頁 下 4 行目 平成 29 年度 第 1 回 検定 (化学 学識) 〔解答および解説〕問 8	$= \frac{x^2}{(0.79 - \frac{x}{2}) \times (0.21 - \frac{x}{2})}$	$= \frac{x^2}{0.79(1 - \frac{x}{2}) \times 0.21(1 - \frac{x}{2})}$
p. 255 頁 7 行目 令和元年度 第 1 回 検定 (化学 学識) 〔解答および解説〕問 8	ハ. (×) 1 Pa = 1 m ⁻¹ ・kg・s ⁻²	ハ. (×) 1 Pa = 1 m ⁻² ・kg・s ⁻²
p. 315 頁 上 3 行目 令和元年度 国試 (学識) 〔問題〕問 7 ロ.	並流の熱交換器では、出口における <u>2 つ</u> の流体の温度差は	並流の熱交換器では、出口における <u>つ</u> の流体の温度差は
p. 520 頁上 7 行目 平成 30 年度 第 2 回 (機械 学識) 〔解答および解説〕問 5	$\frac{(Q_1 - W)}{Q_1} = T_2 / T_1$ となる。 $T_1 = 760 + 273 = 1033 \text{ K}$, $Q_1 = 40 \text{ kJ}$, $W = 30 \text{ kJ}$ を代入して <u>T_2 を求めると</u> , $T_2 = T_1 \frac{(Q_1 - W)}{Q_1}$ $= 1033 \text{ K} \times \frac{(40 \text{ kJ} - 30 \text{ kJ})}{40 \text{ kJ}}$ $= 258 \text{ K} = -15 \text{ }^\circ\text{C}$	$\frac{Q_2}{(Q_2 - W)} = T_2 / T_1$ となる。 <u>T_2 で解いて</u> , $T_1 = 760 + 273 = 1033 \text{ K}$, $Q_1 = 40 \text{ kJ}$, $W = 30 \text{ kJ}$ を代入すると, $T_2 = T_1 \frac{(1 - W/Q_1)}$ $= 1033 \text{ K} \times \frac{(1 - 30 \text{ kJ}/40 \text{ kJ})}{1}$ $= 258 \text{ K} = -15 \text{ }^\circ\text{C}$
p. 583 頁 上 17 行目 令和元年度 国試 (法令) 〔問題〕問 7 ロ.	貯蔵設備等の <u>周囲 5 メートル</u> 以内 においては、引火性又は発火性の物 を置いてはならないが、適切な防消 火設備を適切な箇所に設けた場合 は、貯蔵設備等の <u>周囲 5 メートル</u> 以 内に引火性又は発火性の物を置く ことができる。	貯蔵設備等の <u>周囲メートル</u> 以内に においては、引火性又は発火性の物を 置いてはならないが、適切な防消火 設備を適切な箇所に設けた場合は、 貯蔵設備等の <u>周囲メートル</u> 以内に 引火性又は発火性の物を置くこと ができる。
p. 587 頁 上 12 行目 令和元年度 国試 (法令) 〔問題〕	容器に充填する定置式製造 <u>設備</u>	容器に充填する定置式製造 <u>設</u>
p. 635 頁 平成 30 年 乙種化学	受験者数 合格者数 合格率[%] <u>1,893</u> <u>720</u> <u>38.0</u>	受験者数 合格者数 合格率[%] <u>1,320</u> <u>526</u> <u>39.8</u>
p. 635 頁 平成 30 年 乙種機械	受験者数 合格者数 合格率[%] <u>4,674</u> <u>1,129</u> <u>24.2</u>	受験者数 合格者数 合格率[%] <u>3,379</u> <u>816</u> <u>24.1</u>